

平成28年度政策評価に関する統一研修（地方研修）

政策効果の把握に必要な統計データ  
の適性かつ有効な利用について  
【演習】

鳥取大学 地域学部  
小野 達也

# プラン

- 1 目標達成度の把握
- 2 正味の政策効果の把握
- 3 アンケート結果の信頼性

# 1. 目標達成度の把握

- 政府の目標管理型政策評価や行政事業レビュー、自治体の総合計画の進行管理や事務事業評価、地方創生総合戦略のKPIなど、政策評価・行政評価の多くの場面（業績測定型評価）で、評価指標の目標値を設定し達成度を把握することが行われる。
- このシンプルかつ強力な手続きの成否は、統計データの取扱い次第。

# 事例1. A市基本構想の数値目標と達成状況

評価指標	16年度 (基準)	21年度 (実績又は見込)	27年度 (目標値)	達成率
人口(人)	201,421	198,289	203,000	97.7%
観光入込客数(万人)	224	230	270	85.2%
CATV加入件数(件)	35,000	53,000	58,000	91.4%
市営住宅のバリアフリー化率(%)	22.0	27.6	40.0	69.0%
市立図書館年間貸出冊数(冊)	612,575	855,000	1,200,000	71.3%
自主防災組織数(件)	764	781	812	96.2%
市内交通事故件数(件)	1,020	720	500	69.4%

# ①

評価指標	16年度 (基準)	21年度 (実績又は見込)	増加率
CATV加入件数(件)	35,000	53,000	51.4%
市立図書館年間貸出冊数(冊)	612,575	855,000	39.6%
市営住宅のバリアフリー化率(%)	22.0	27.6	25.4%
観光入込客数(万人)	224	230	2.7%

<メモ>

## ②

評価指標	16年度 (基準)	21年度 (実績又は見込)	27年度 (目標値)	達成率
人口(人)	201,421	198,289	203,000	97.7%
自主防災組織数(件)	764	781	812	96.2%
観光入込客数(万人)	224	230	270	85.2%
市立図書館年間貸出冊数(冊)	612,575	855,000	1,200,000	71.3%

<メモ>

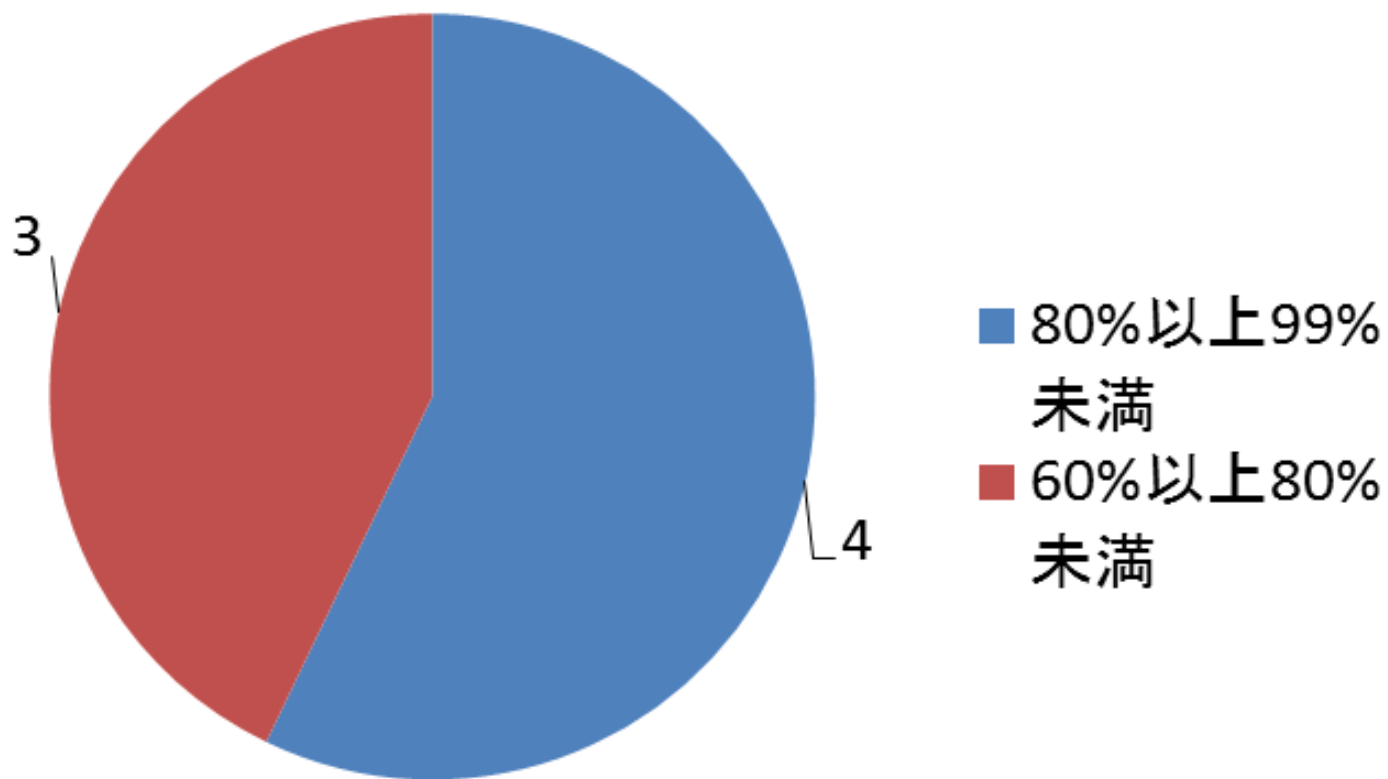


## ②(続き)

評価指標	16年度 (基準)	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度 (見込)	27年度 (目標値)	達成率
観光入込客数 (場合1)	224	250	250	250	250	230	270	85.2%
観光入込客数 (場合2)	224	200	200	200	200	230	270	85.2%

<メモ>

③



<メモ>

# 「1. 目標達成度の把握」に関する参考文献

- \* 小野達也(2008)「都道府県の評価の10年一定量評価のこれまでとこれから」『日本評価研究』8巻1号
- \* 小野達也(2011)「業績測定型評価における目標設定と達成度評価の妥当性－行政評価の形骸化を避けるための条件－」『地域学論集』(鳥取大学地域学部紀要)8巻2号
- \* 小野達也(2013)「政策評価と実績測定－府省の実績測定における計量・計数を巡って－」『日本評価研究』13巻2号
- 小野達也(2016)「自治体における業績測定型評価の現状と課題－20年を経過した都道府県の取り組みの点検結果から－」『日本評価研究』16巻1号

( \* 印は、鳥取大学HP研究成果リポジトリ、日本評価学会HPからダウンロード可)

## 2. 正味の政策効果（インパクト）の把握

- （業績指標型評価などで）評価指標の値が改善したとして、その改善は本当に当該プログラムによるものか？ また、指標値の上昇はすべて当該プログラムがもたらしたのか？
- このような観点は、「プログラム評価（或いはインパクト評価）」（政策評価制度の総合評価方式に関わる）の中核的部分。

## 事例2. 米国コネチカット州のスピード違反取締条例の効果

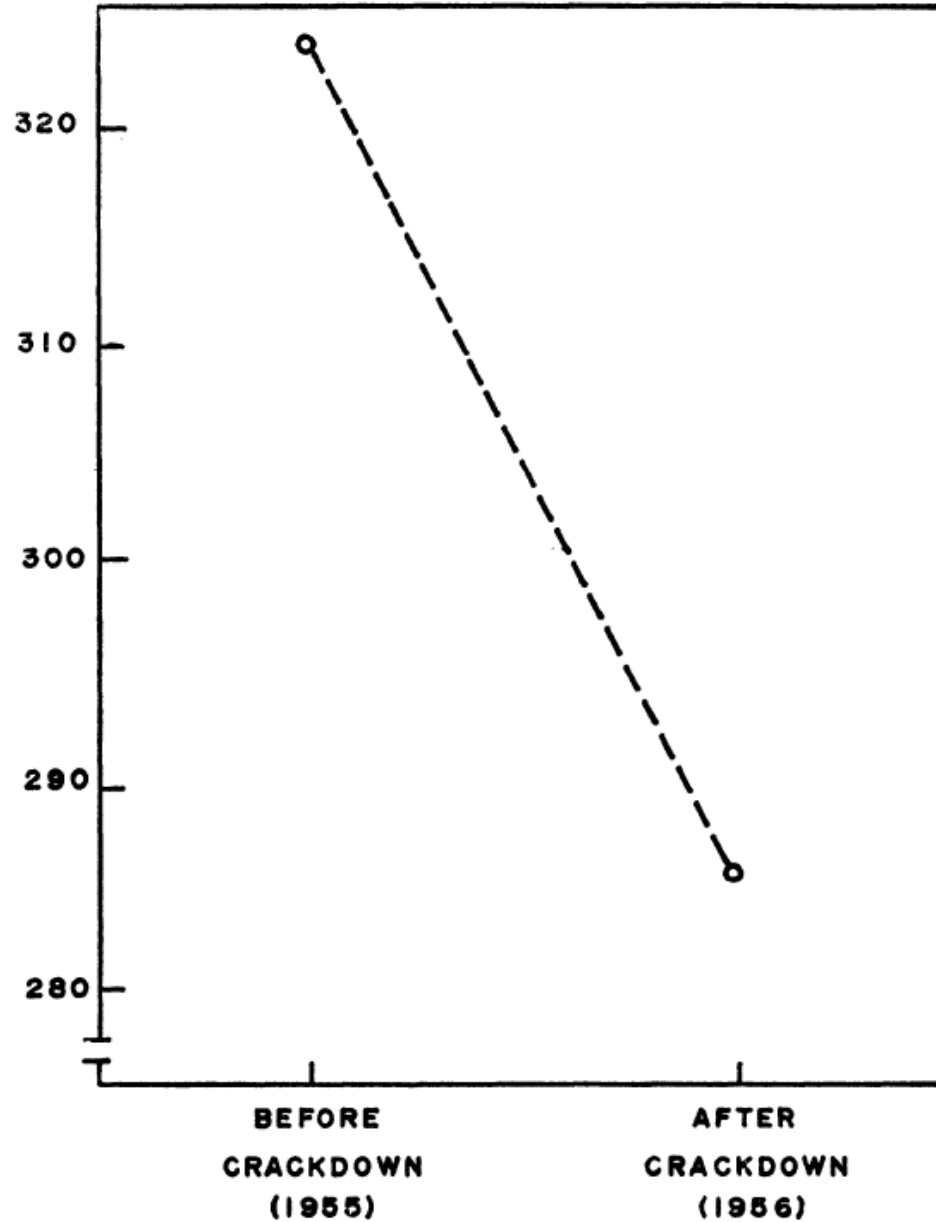


Figure 1. Connecticut Traffic Fatalities, 1955-1956

<メモ>



# ○正味(ネット)の効果(インパクト)とは

- 当該プログラムが行われなかった場合と比べて、どれだけの効果が得られたのか
  - 当該プログラムだけがもたらした効果の推計値
  - アウトカム指標の変化
- ＝正味の効果＋外部の効果＋誤差・偶然など

<メモ>

## 「2. 正味の政策効果の把握」に関する参考文献

小野達也(2004)『行政評価と統計』日本統計協会(第4部第6章)

ロッシ、リップセイ、フリーマン(2005)『プログラム評価の理論と技法』日本評論社(第7版の翻訳)

Rossi,P.H.;Freeman,H.E.;and Lipsey,M.W.(1999) .  
*Evaluation: A Systematic Approach 6th Edition*, Sage Publications

(図の出典)

Campbell,D.T. and Ross,H.L.(1968).The Connecticut Crackdown on Speeding: Time-Series Data in Quasi-Experimental Analysis. *Law & Society Review*, Vol.3, No.1

薬師寺泰蔵(1989)『公共政策』東京大学出版会

# 3. アンケート結果の信頼性

- 政策評価・行政評価に必要なデータを得るために、各種のアンケート(多くは標本調査)が実施されている。
- 標本調査の結果の信頼性は、調査の設計・実施・集計の手順に大きく左右される。

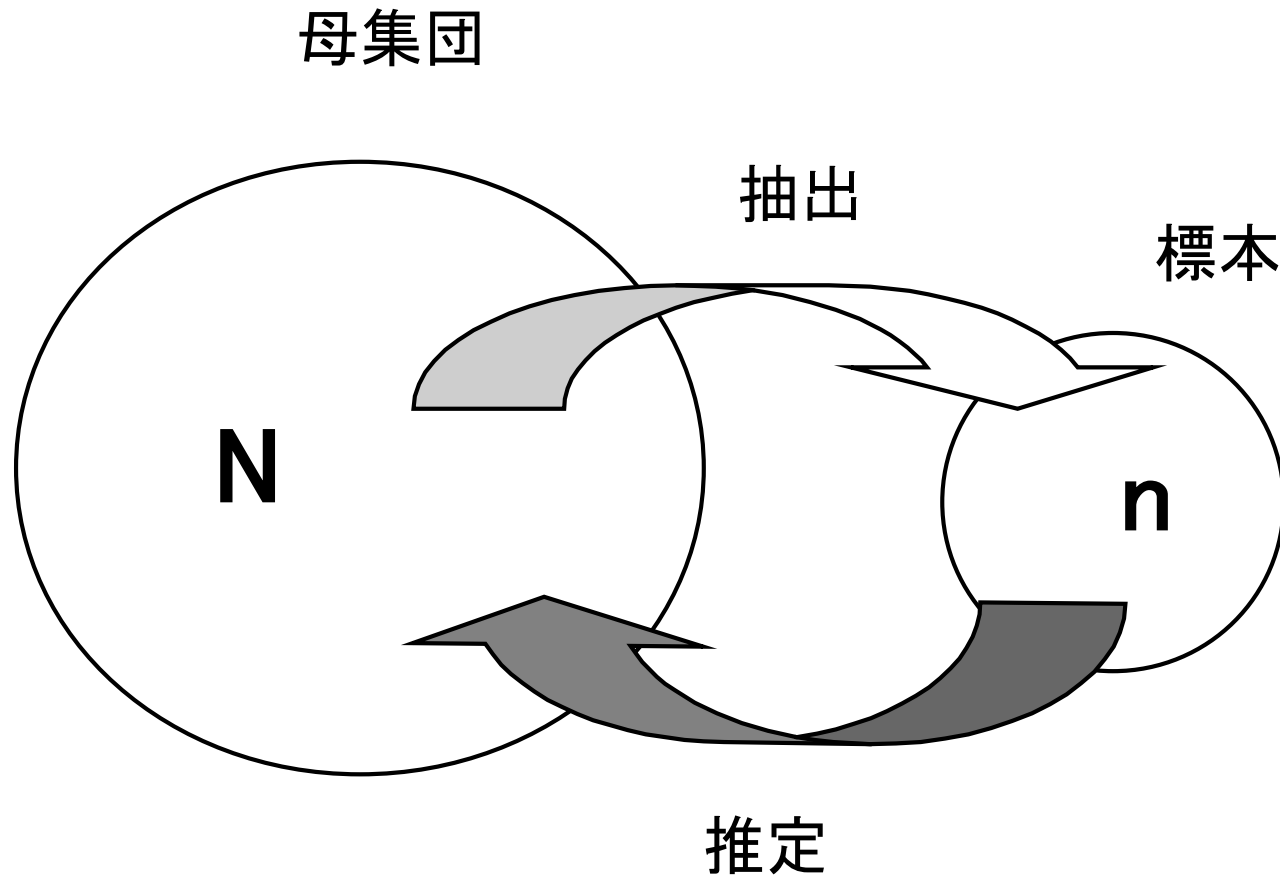
# 事例3. B県の子育て支援サービスに関するアンケート(H25年度)

- 意見Aは58.7%と前回(H21年度44.5%)と比べて14.2ポイント増加し、逆に意見Bは34.5%と前回(H21年度41.7%)と比べて7.2ポイント減少した。
- H25年度調査  
調査期間 平成25年11月26日～12月9日  
対象3,000人 回収数756人
- H21年度調査  
調査期間 平成21年7月～9月  
対象1,800人 回収数1,274人

<メモ>

# ○標本調査はシチューの味見である

☆よくかき混ぜておけば、ほんの一口をスプーンですくえばよい！



# ○カバレッジと無作為抽出 —まず、よくかき混ぜること

- 味見の前に鍋の中をよくかき混ぜることは、標本調査においては、母集団の全体をカバーするやり方で(カバレッジ)、皆が同じ確率で標本になること(ランダム・サンプリング、無作為抽出)、即ち全員が同じ程度で結果数字に関わる可能性をもつことで実現できる。



# ○実際に行われている調査の例

- ①市民全員(20歳以上)を対象とするアンケートで、一定期間、市役所のHPで誰でも回答できるようにした。
- ②市民全員(20歳以上)を対象とするアンケートで、駅前広場で、通行人に呼び掛け、一定数になるまでアンケートへの協力を依頼した。
- ③市民全員(20歳以上)を対象とするアンケートで、役場や公民館、図書館などに調査票と回収箱を置き、誰でも回答できるようにした。
- ④公募市民(20歳以上)による市政モニターを対象に、定期的にアンケートを実施した。

<メモ>

### 「3. アンケート結果の信頼性」に関する参考文献

小野達也(2004)『行政評価と統計』日本統計協会(第4部第6章)

Claus Moser, Graham Kalton(1971). *Survey Methods in Social Investigation 2nd Ed.* Gower

嘘には3種類ある。普通の嘘と、真っ赤な嘘と、統計だ。

**There are three kinds of lies: lies, damned lies, and statistics.**

数字はウソをいわない、しかしウソつきは数字を使う。

**Figures don't lie, but liars figure.**